

## 所蔵文書一覧

No	文書名	数	内容	目録	備考
1	家世実紀	277巻	初代藩主保科正之から6代藩主松平容住に至る会津藩歴代の正史。		活字本、複写資料、デジタルデータあり。
2	諸士系譜	342巻	会津藩士全360巻の内1020家の系譜。文政6年、現在の当主名を見出し人名とする。	『要略会津藩諸士系譜 上・下』	複写資料、デジタルデータあり。
3	新編会津風土記	120巻	会津藩領内の界域、寺社、人物など16項目を詳述。		活字本あり。
4	木本栄成家文書	483点	木本家は、家禄750石の会津松平家中。3代当主成理およびその前後の当主に関する文書である。	『会津若松市史史料目録 第3集』	
5	坂内宗一家文書	162点	若松城下馬場町の検断を務めた家で、所蔵文書の内殆どが近世文書で検断職に関わるものである。	『会津若松市史史料目録 第3集』	
6	飯岡七郎家文書	48点	若松城下新町の検断を務めた家で、所蔵文書の内46点が近世文書である。	『会津若松市史史料目録 第3集』	
7	松平家文書	26点	旧会津藩主・松平家旧蔵文書。戊辰戦争後の若松および旧会津藩士に関する文書。	『会津若松市史史料目録 第4集』	一部複写資料あり。
8	北会津郡役所文書	77点	旧北会津郡役所所蔵の一部で、斗南藩移住に関する文書や旧会津藩士の戸数・戸主、帰農商人名簿等がある。	『会津若松市史史料目録 第4集』	一部複写資料、デジタルデータあり。 ※平成29年6月6日会津弔霊義会より3点寄贈
9	五十嵐竹雄家文書	15点	五十嵐竹雄家収集文書の一部。資料の多くは福島県立博物館で所蔵。五十嵐竹雄氏は元会津史談会会長。	『会津若松市史史料目録 第4集』	
10	大沢平八家文書	20点	大沢家は会津若松市七日町在住。明治初期の屋敷名録が貴重。	『会津若松市史史料目録 第4集』	
11	岡部孝助家文書	375点	岡部家は猪苗代・川東組の郷頭を務めた。「16 岡部家文書」の目録作成時に未整理だった文書。	『会津若松市史史料目録 第4集』	
12	小川涉家文書	19点	小川涉は旧会津藩士。『会津藩教育考』を著すために収集した資料の一部。会津藩士達その他邦活計人員調などを含む。	『会津若松市史史料目録 第4集』	一部複写資料あり。
13	小林富子家文書	7点	孔雀屋という屋号で藩政時代から会津若松市本町に店を構えていた呉服商。	『会津若松市史史料目録 第4集』	

14	林平蔵家文書	57点	林家は大正期に林紡績株式会社、昭和期には会津バスを興した。	『会津若松市史史料目録 第4集』	
15	藤沢正啓家文書	23点	藤沢正啓は旧会津藩士。戊辰戦争後は警視庁典獄、松平家の家政顧問を務めた。	『会津若松市史史料目録 第4集』	
16	岡部家文書	845点	岡部家は猪苗代・川東組の郷頭を務めた。昭和40年、故山口孝平氏により目録が作られた。	『岡部文書目録』	
17	穴澤家文書	366点	穴澤家は高久組木流村（現在の会津若松市高野町）の肝煎を務めた。	『橋本木流村肝煎穴澤家文書目録』	複写資料のみ。
18	遠藤家文書	500点	遠藤家は河沼郡中茅津新田村（現在の会津坂下町）の肝煎を務めた。	『会津図書館蔵書目録 郷土資料増加目録Ⅰ』	一部複写資料あり。
19	松平家旧蔵漢籍	327冊	松平家で所蔵していた漢籍（漢文で書かれた中国の書籍）。歴史書（元史、宗書など）が多い。		
20	中條家文書	26冊	旧会津藩士中條直蔵方治が書き残した日誌の他、會津藩校誌など。		
21	赤塚家文書	14点	旧会津藩士赤塚忠継が記した『戊辰在陣略記』や会津藩上屋敷絵図、若松城下を描いた絵図資料など。		複写資料のみ。
22	賀川家文書	22冊	旧会津藩医賀川謙瑞が幕末の会津藩について記した『移世録鈔略秘書』の他、日誌など。		複写資料のみ。
23	会津暦	179冊	寛永18年(1641)から明治3年(1870)に会津若松市の諏方神社で発行された地方暦。寛永17年以後の会津暦の見行草(暦の計算草稿)を5冊含む。	『会津暦一覧表』	
24	耳目集	114冊	会津の文筆家、齋藤和節の筆写本。幕末から明治にかけての古今東西の名著の写し、抜き書き、噂話、和歌など。	参考資料「齋藤和節と『耳目集』」1~3(『歴史春秋』第75~77号掲載)	欠号 2、16、17、26、30、 57、77~98、100、 106、110、111、 125、133